

II-2 令和6年度やまぐち就農支援塾研修計画

研修項目	研修内容	研修日程	回数	1回の 日数	1回の 定員	受講者数	対象								
							農業 未経験者	販売 希望者	準備 資金 対象	開始 資金 対象	農業 法人 意向	農業 一 般	県・市 職員		
I 就農 支援	1 短期入門研修	就農や農業法人への就業に興味のある方を対象とし、方向づけを主とした3日間の研修	①R6年5月28日～5月30日 ②R6年7月9日～7月11日 ③R6年10月22日～10月24日 ④R6年12月3日～12月5日 ⑤R7年1月28日～1月30日	5	3	10	50	○	—	—	—	—	○	—	
	2 作目基礎研修	就農や農業法人への就業、自ら生産した農産物の出荷や販売を目指す方を対象とし、日曜日に開催する実践研修	【共通】 ①4月14日 ②6月23日 ③8月25日 ④12月8日					○	○	—	—	—	○	—	
	施設野菜	・施設野菜を中心に実習・座学により基礎技術を学ぶ	①4月14日②5月12日③6月16日④7月28日 ⑤9月1日⑥9月29日⑦10月20日⑧11月10日	8	1	15	120	○	○	—	—	—	○	—	
	露地野菜	・露地野菜を中心に実習・座学により基礎技術を学ぶ	①4月14日②5月12日③6月16日④7月28日 ⑤9月1日⑥9月22日⑦9月29日⑧10月20日⑨11月17日	9	1	15	135	○	○	—	—	—	○	—	
	果樹	・果樹を中心に実習・座学により基礎技術を学ぶ	①4月14日②5月12日③6月16日④7月7日 ⑤9月1日⑥10月20日⑦11月17日⑧12月1日	8	1	15	120	○	○	—	—	—	○	—	
	水稻	・水稻を中心に実習・座学により基礎技術を学ぶ	①4月14日②5月12日③6月16日④7月28日 ⑤9月1日⑥9月29日⑦11月17日	7	1	15	105	○	○	—	—	—	○	—	
	畜産	・畜産を中心に実習・座学により基礎技術を学ぶ	①4月14日②5月12日③6月9日④9月1日⑤9月29日⑥ 10月中旬⑦11月上旬⑧11月下旬⑨12月上旬	9	1	15	135	○	○	—	—	—	○	—	
	農業機械	・農業機械を中心に実習・座学により基礎技術を学ぶ	①4月14日②5月12日③6月9日④7月7日⑤9月22日⑥ 10月20日⑦11月17日	7	1	10	70	○	○	—	—	—	○	—	
	3 担い手養成研修(自営就農コース、法人就業コース)	就農や農業法人への就業を目指す方を対象とした農業大学校での一年間のフルタイム研修を実施	R6 3月15日～R7 3月31日	1	250	35	35	—	○	○	—	—	—	—	
	4 就農前集合研修	担い手養成研修生(農大・現地)の就農・定着を支援するため、農業経営に必要な知識の習得を支援	①5月15日 ②6月27日 ③8月7日 ④10月16日 ⑤12月11日 ⑥2月12日	6	1	20	120	—	○	○	—	—	—	—	
計			60	—	—	890									
II 技術 向上	5 経営スキルアップ研修	新規就業者・就農者が今後の経営発展や意欲醸成に必要な先進事例等を聴講						—	—	—	○	—	○	○	
	経営課題の見つけ方と経営戦略の立て方	・経営の課題を整理するSWOT、クロス分析の手法について	①7月上旬、 ②7月中旬	2	1	50	100	—	—	—	○	—	○	○	
	パソコン農業簿記研修(簿記記載)	・パソコンによる農業簿記帳(ソリマチ)について	7月下旬	1	1	30	30	—	—	—	○	—	○	○	
	流通の基礎	・商品を市場に流通させるためのモノ、カネ、情報の流れと生産と消費をつなぐ仕組みについて(講義とワークショップ)	8月上旬	1	1	50	50	—	—	—	○	—	○	○	
	農業金融研修	・農業経営における資金繰りや融資制度、融資制度活用ポイントについて	8月下旬	1	1	50	50	—	—	—	○	—	○	○	
	商品開発と食品衛生管理	・商品開発に係る関係法規と知的財産の仕組み及び食品衛生管理の基礎について	9月上旬	1	1	50	50	—	—	—	○	—	○	○	
	商品PRの手法	・クラウドファンディングの活用方法、商品プロモーション・販促の基礎とプレゼン手法について	9月下旬	1	1	50	50	—	—	—	○	—	○	○	
	農福連携研修	・県内における農福連携の取組状況や事例について	10月中旬	1	1	50	50	—	—	—	○	—	○	○	
	農産物マーケティング研修	・商品を売るために必要な知識、SNSを活用した情報発信や販売手法について	10月中旬	1	1	50	50	—	—	—	○	—	○	○	
	農業経営リスクマネジメント研修(トヨタ)	・トヨタカイゼン方式の取組やカイゼンを導入した農業法人等の経営改善の取組事例について	11月下旬	1	1	50	50	—	—	—	○	—	○	○	
	「働きやすさ」をつくる経営改善	・みんなが働きやすい職場をつくる経営改善のノウハウについて	12月上旬	1	1	50	50	—	—	—	○	—	○	○	
	SNS研修	・事業にあったSNSの選択や効率よい広報戦略について	12月中旬(調整中)	1	1	50	50	—	—	—	○	—	○	○	
	パソコン農業簿記研修(決算処理)	・パソコンによる農業簿記決算処理について	1月中旬	1	1	30	30	—	—	—	○	—	○	○	
	農業DX(スマート農業)	・山口県におけるスマート農業の取組状況や事例について	1月中旬	1	1	50	50	—	—	—	○	—	○	○	
	商品のキャッチコピー研修	・商品販売のためのキャッチコピーについて	1月下旬(調整中)	1	1	50	50	—	—	—	○	—	○	○	
	農業労務管理研修	・雇用に係る権利や義務など、知っておきたいポイントについて	2月中旬(調整中)	1	1	50	50	—	—	—	○	—	○	○	
	6 課題解決研修	パイプハウスの建設、農業機械メンテナンス等、専門的な知識や実践的な技能の習得を支援							—	—	○	—	—	○	—
	パイプハウス建設実践研修	・自家施工・修理、中古部材の活用など、経営コスト削減のためのノウハウを習得	2月上旬	2	4	15	30	—	—	○	—	—	○	—	
	女性のための農業機械メンテナンス研修	・女性農業者・法人女性オペレーター等を対象・刈払機、乗用トラクター、管理機等の取扱を習得	2月下旬	1	3	10	10	—	—	○	—	—	○	—	
	計			19	—	—	800								

項目	研修内容	研修日程	回数	1回の日数	1回の定員	受講者数	対象						
							農業未経験者	販売希望者	準備資金対象	開始資金対象	農業法人意向	農業一般	県・市職員
7 資格取得研修	農業経営に必要な各種資格取得を支援						—	—	—	—	—	○	—
大型特殊自動車免許（農耕車限定）取得研修（5日コース）	高度な運転技能を有する農業者の育成を図り、農業生産性の向上と農作業の安全を確保するため、大型特殊免許（農耕用限定）の取得研修を行う。	①R6年4月19日～5月9日（学生・研修生） ②R6年5月15日～5月29日（学生・研修生） ③R6年6月7日～6月13日 ④R6年7月5日～7月11日 ⑤R6年11月8日～11月14日 ⑥R6年11月29日～12月5日 ⑦R6年12月3日～12月19日 ⑧R7年1月9日～1月16日	6	5	20	120	—	—	—	—	—	○	—
大型特殊自動車免許（農耕車）取得研修（農大トラクタ持ち込み試験：3日コース）	高度な運転技能を有する農業者の育成を図り、農業生産性の向上と農作業の安全を確保するため、大型特殊免許（農耕用限定）の取得研修を行う。	①R6年6月18日～6月20日 ②R6年7月1日～7月3日 ③R6年8月6日～8月8日 ④R6年10月15日～10月17日 ⑤R6年10月22日～10月24日 ⑥R6年11月5日～11月7日 ⑦R6年11月19日～11月28日 ⑧R6年11月26日～11月28日 ⑨R6年12月9日～12月11日 ⑩R7年1月17日～1月21日	10	3	8	80	—	—	—	—	—	○	—
けん引免許（農耕車限定）取得研修	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、けん引免許（農耕用限定）の取得研修を行う。	①R6年7月17日～7月24日（一般農業者） ②R6年9月19日～10月3日（学生・研修生） ③R6年11月22日～2月5日（学生・研修生） ④R7年2月12日～2月19日（一般農業者）	2	6	12	24	—	—	—	—	—	○	—
玉掛け技能講習	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、玉掛け作業（吊り上げ荷重1トン以上のクレーン）の技術を有するオペレーターを養成する。	①R7年3月17日～19日（21日）	1	3	10	10	—	—	—	—	—	○	—
小型移動式クレーン運転技能講習	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、移動式クレーン（吊り上げ荷重1トン以上5トン未満）の操作技術を有するオペレーターを養成する。	①R7年2月25日～27日（28日）	1	3	10	10	—	—	—	—	—	○	—
フォークリフト運転技能講習（大特免許取得者対象）	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、フォークリフト（最大荷重1トン以上）の操作技術を有するオペレーターを養成する。	①R6年7月22日～24日 ②R6年8月19日～26日 ③R7年3月4日～6日	3	3	20	60	—	—	—	—	—	○	—
フォークリフト運転技能講習（普通自動車免許取得者対象）	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、フォークリフト（最大荷重1トン以上）の操作技術を有するオペレーターを養成する。	①R6年7月30日～8月2日	1	3	20	20	—	—	—	—	—	○	—
小型車両系建設機械運転特別教育	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、バックホウなどの車両系建設機械（機体重3トン未満）の操作技術を有するオペレーターを養成する。	①R6年6月12日、13日 ②R6年6月25日、26日 ③R6年11月6、7日	3	2	15	45	—	—	—	—	—	○	—
アーク溶接特別教育	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、アーク溶接の技術を有するオペレーターを養成する。	①R6年12月18日～20日	1	3	15	15	—	—	—	—	—	○	—
伐木作業（チェーンソー）取扱特別教育	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、伐木作業の技術を有するオペレーターを養成する。	①R6年7月31日～8月2日	1	3	15	15	—	—	—	—	—	○	—
刈払機取扱作業安全衛生教育	農業生産法人の経営の効率化を促進させるため、刈払機の操作技術を有するオペレーターを養成する。	①R6年5月30日 ②R6年6月4日 ③R7年1月30日	3	1	15	45	—	—	—	—	—	○	—
計			32	—	—	444	—	—	—	—	—	—	—
合計			111	—	—	2,134	—	—	—	—	—	—	—